

## 普及現地情報

発信年月日：令和2年（2020年）5月18日  
所属名：湖北農産普及課  
番号：G20001  
部門分類：110（稲）  
発信者名：富家、川村容、長瀬

### オーガニック米栽培での緑肥の活用を支援！

長浜市内保町のT氏は、これまで緑肥「ナタネ」と有機肥料を活用した施肥と機械除草による雑草管理により水稻の有機栽培（オーガニック米栽培）に取り組まれてきました。今年は、さらに収量を向上するために、緑肥として「ヘアリーベッチ」を導入され、緑肥の違いの確認と緑肥ごとの施肥体系の確立に取り組まれています。

当課では、オーガニック米の取り組みを推進するために、安定して目標収量を確保できる農家を育成しています。T氏はこれまで緑肥として「ナタネ」を利用されてきましたが、収量が低かったため、窒素の施用効果が期待される「ヘアリーベッチ」と従来の「ナタネ」の比較を当課から提案し、現地ほ場で栽培支援をしています。

「ヘアリーベッチ」はこれまでの知見に基づいて、生育量に応じた施肥管理を支援しています。また、「ナタネ」においても、これまで生育量に応じた施肥体系が確立していなかったため、農業技術振興センターの協力を得ながら、緑肥として期待される効果を算出し、追肥の支援をしています。

今後、緑肥の施肥効果の違いを参考にし、管内での緑肥の活用を広げていきます。



緑肥の生育量を測定（左：ヘアリーベッチ、右：ナタネ）